



# 西幼だより

羽島市立西部幼稚園  
令和5年 2月 1日 No. 18  
園長 安藤賢治

## 思わずギュッと抱きしめました！

冬休み、「PTA家庭教育学級」の実践として【親子でスキンシップ ～ハグタイム～】がありました。いかがでしたか。

やってみての感想を裏面に載せました。本当に好評です。 **“ハグって、すごい！”**

右は、昨年度もお伝えしたものです。この中の『自己肯定感』について・・・

▶まさに、そのとおり！

＜笑顔、安心、チャレンジ、達成感…＞

\* \* \*

◆先週、ひまわり組《リズム遊び》の時でした。

おやおやっ？ みんなと一緒にやっている！

…そうです。これまでは、見ているだけの彼が楽しそうにやっているではありませんか。



▶リズム遊びが終わった後、担任は、**思わずぎゅっと抱きしめちゃいました！**

と、嬉しそうに教えてくれました。

○担任は、最近の彼が、遊んでいる友達の輪に入っていくように変わってきていることに気づいて、心の変化、成長を感じていたようです。

…だから、見守っていた(だけ)。そして…ぎゅっ！ ← **“この時”を逃さない感性がいい**



＜お知らせ＞ ～保護者の方の参加～

◇演劇鑑賞会「バル・ソヨ」(2/22水)

ひまわり なでしこ…(希望保護者)

10:30～ 13:00～(50分間)

◇お遊戯会(2/18土 AM) \*組ごとに発表(案内:配布済)・・・詳細は担任より

◇スキンシップは、なぜ大事なの？

お母さんは、スキンシップをすることで、子どもがかわいく思えます。

スキンシップを図る

ハグ週間  
親子の絆づくり



オキシトシン(愛情ホルモン)

子どもへの愛情が増す。  
世話する能力が活性化される。

満足感・安心感は子どもとの愛着を形成します。  
愛着は、人と人との信頼関係の基礎となります。

子どもは、スキンシップをすることで愛されているという安心感をもちます。

私は愛されている



自己肯定感

私は存在しているんだ

子どもは、愛されている安心感をもつと、いろいろなことにチャレンジするエネルギーと勇気がわいてきます。そして、チャレンジしたことができたとき、「うれしい」「またやりたい」と心から思います。それが、自信になり、自己肯定感になっていきます。

「抱っこ」のあたたかい思い出は、次世代の子育てへ受け継がれていく大切な時間です。0～5歳の頃は、スキンシップで自己肯定感を育てましょう。

◆どうした？ 先生が何か刺激をしたのかな。

担任の後藤先生に、聞いてみました。

「何か、話したりしたのですか？」

「何もしていません。それが、今日…！」

「これまでは、見ているだけだったような…」

「そうです。でも、途中で入ろうとすることもあったりして、自信がなかったのかなあ。」

「いつかは…と、待っていたのですね。」

# “親子でスキンシップ”～ハグタイム～

昨年 好評だった『ハグタイム』  
今年も PTA 役員さんの発案で実践しました。  
\*ご家庭で好きなタイミングで  
\*祖父母の方も もちろん歓迎

➤うれしいお声が届きました。  
\*こんなにも素敵な効果があるのですね。

「ギューしょ」と言うとサササーっと走ってきて  
くれて、大人に背中を向けてすり寄り座ったり  
してきました。背中から包み込まれるようにハ  
グされるのが好きです。

朝のあいさつ、お手伝いをした時、うれしい時、  
さびしい時、甘えたいとき、いろんな場面で大  
きくハグできて、自分も子供もうれしかったり  
落ち着いたり、良い方向へ気持ちがいけまし  
た。

家族で順番にハグする時間を作り、冬休  
み中もうれしそうな顔が見れました。



◇ハグをしたら好きな所1マスをぬりえや、○をつけたり、シールをはるなどして  
自由に埋めて下さい。 たて・よこ・ななめのどれか1列がそろえばビンゴです。

「ハグしよう」と毎日子供から声をかけてく  
らせて優先してやっていました。ハグの後のぬ  
りえとビンゴが楽しかったみたいで、喜ん  
で取り組んでいました。

ぬりえが好きなので、楽しく取り組むこと  
ができました。ハグもいっぱいできて幸福  
感が満たされました。

ぎゅーっとして、お互い 目が合うと思わ  
ずになんか嬉しくなりました。そのまま抱  
っこもできて楽しかったです☆

子)うれしかった  
母)毎日ハグしていますが、家族全員とハ  
グができたので良かったです。今まで以上  
に、姉弟の仲が良くなった気がします。

ハグをすると子供も喜び、イライラして  
しまう場面が減る気がしました。

いつもはあまり近寄ってこない(遊んでい  
るとほとんど親に見向きもしない)〇〇が、  
「ぎゅーして」って来てくれて、にこにこ  
しているのが可愛くて、こちらも幸せな  
気分になりました。

7秒間のハグがいいとどこかで聞いたの  
で7秒以上を心がけて取り組みました。ふ  
だんからスキンシップは十分だと思ってい  
ましたが、7秒は意外と長く、ゆっくりで  
きて幸せな気分になりました。



“子供にとって**も**いいことばかり”  
この“も”！

← 取組カードに書かれていました。

やってみればわかります。・・・子供だけではなく、“お互い”ですよね・・・

➤これからも、やっけていけませんか。(PS：“子どもに”・・・だけではなさそうですよ。)